



News Release

2021年11月25日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

ストーブ・ファンヒーターの事故に注意！！ ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方のストーブ・ファンヒーターの事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2016年度から2020年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、ストーブ・ファンヒーター^{※2}の事故は201件ありました。ストーブ・ファンヒーターの事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 本資料では石油ストーブ、石油ファンヒーター、電気ストーブ及び電気ファンヒーターの4種をまとめて「ストーブ・ファンヒーター」と記述する。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2016年度	2	2	3	11	8	12	8			3	49
	(内数)火災事故	(1)	(2)	(3)	(10)	(6)	(10)	(6)			(3)	(41)
	2017年度	5	1	2	6	4	10	5	2			35
	(内数)火災事故	(4)	(1)	(2)	(5)	(4)	(5)	(4)	(2)			(27)
	2018年度	2	1	3	12	4	6	5	4		1	38
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(2)	(12)	(4)	(3)	(2)	(3)		(1)	(30)
	2019年度	3	1	3	7	4	11	5	2		1	37
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(2)	(5)	(3)	(8)	(4)	(2)		(1)	(28)
2020年度	1		3	8	6	10	9	3	1	1	42	
(内数)火災事故	(1)		(3)	(7)	(4)	(6)	(4)	(2)		(1)	(28)	
合計	13	5	14	44	26	49	32	11	1	6	201	
(内数)火災事故	(10)	(5)	(12)	(39)	(21)	(32)	(20)	(9)	(0)	(6)	(154)	

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡	1	1	4	9	1		2	4		22	
		(内数)火災事故	(1)	(1)	(4)	(9)	(1)		(2)	(4)		(22)	
		重傷			1	1		1	1				4
		(内数)火災事故				(1)			(1)				(2)
	物的被害	軽傷	2			5	2	4	3			1	17
		(内数)火災事故	(2)			(4)	(2)	(4)	(3)			(1)	(16)
		拡大被害	6	3	6	18	15	22	11	5		3	89
		(内数)火災事故	(6)	(3)	(6)	(18)	(13)	(18)	(9)	(4)		(3)	(80)
	被害なし	製品破損	4	1	3	11	8	22	15	2	1	2	69
		(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(7)	(5)	(10)	(5)	(1)		(2)	(34)
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		13	5	14	44	26	49	32	11	1	6	201	
(内数)火災事故		(10)	(5)	(12)	(39)	(21)	(32)	(20)	(9)	(0)	(6)	(154)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	総計	
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの	3		3	8	6	21	13	2	1	2	59	
		(内数)火災事故			(1)	(5)	(4)	(7)	(3)	(1)		(2)	(23)
	B 製品および使い方に問題があったもの	1			1								2
		(内数)火災事故	(1)			(1)							(2)
	C 経年劣化によるもの			1					1			1	3
		(内数)火災事故			(1)				(1)			(1)	(3)
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1				2		3		1			7
		(内数)火災事故	(1)			(2)		(2)					(5)
	小計		5	1	3	11	6	24	14	3	1	3	71
	(内数)火災事故		(2)	(1)	(1)	(8)	(4)	(9)	(4)	(1)	(0)	(3)	(33)
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送などに問題があったもの											0	
		(内数)火災事故											(0)
	E 誤使用や不注意によるもの			2		7	7	4	4	2			26
		(内数)火災事故		(2)		(7)	(6)	(4)	(4)	(2)			(25)
	F その他製品に起因しないもの	2		6	7	4	8	4	1				32
		(内数)火災事故	(2)		(6)	(7)	(3)	(8)	(4)	(1)			(31)
	小計		2	2	6	14	11	12	8	3	0	0	58
	(内数)火災事故		(2)	(2)	(6)	(14)	(9)	(12)	(8)	(3)	(0)	(0)	(56)
	その他	G 原因不明なもの	6	2	5	19	8	12	8	5		3	68
			(内数)火災事故	(6)	(2)	(5)	(17)	(7)	(11)	(7)	(5)		(3)
H 調査中のもの						1	1	2				4	
		(内数)火災事故					(1)		(1)				(2)
小計		6	2	5	19	9	13	10	5	0	3	72	
(内数)火災事故		(6)	(2)	(5)	(17)	(8)	(11)	(8)	(5)	(0)	(3)	(65)	
合計		13	5	14	44	26	49	32	11	1	6	201	
(内数)火災事故		(10)	(5)	(12)	(39)	(21)	(32)	(20)	(9)	(0)	(6)	(154)	

(2) 甲信越地方において発生した事故の事例

① 給油口ふたの締め付け不良による事故（石油ストーブ）

・ 2018年1月、栃木県、死亡

(事故内容)

石油ストーブ付近から出火し、住宅を全焼、隣接する建物1棟を類焼して、家人1人が死亡した

(事故原因)

カートリッジタンクの給油口口金を確実に締めていなかったため、給油時に給油口口金が外れ、灯油が漏れ、漏れた灯油が高温状態の燃焼部にかかり、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「給油時は必ず消火する。給油後に給油口口金を確実に締め、油漏れがないことを確認する。給油口口金を斜めにならないようにしっかり締める」旨、記載されている。

② ガソリンの誤給油による事故（石油ストーブ）

・ 2018年6月、新潟県、死亡

(事故内容)

石油ストーブ及び建物を全焼、3棟を類焼する火災が発生し、1名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負った。

(事故原因)

使用者が誤ってガソリンを給油したため、事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリン厳禁」、「ガソリン等の揮発性の高い油は、絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、警告表示されている。

③ 周辺の可燃物への着火による事故（電気ストーブ）

・ 2018年3月、千葉県、拡大被害

(事故内容)

使用中の電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

使用者がベッドの上で電気ストーブを使用したことによって、可燃物に接触して火災に至ったものと推定される。

なお、本体には、「燃えやすい物の近くでの使用や就寝中は使用しない。」旨の表示されており、取扱説明書には、「就寝中に使用しない。」、「燃えやすいものの近くで使用しない。」、「不安定な場所で使用しない。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：松本（まつもと）、佐藤（さとう）、松岡（まつおか）

電話：03-3481-1820